

[レスリング] 全日本学生

稲葉(フリー55kg級)が連覇

最優秀選手賞、最多フォール賞獲得

北村はグレコ96kg級初優勝

全日本学生レスリング選手権が8月21日から24日まで駒沢体育館で行われ、フリースタイル55kg級で稲葉泰弘(経営4・霞ヶ浦高)が連覇を達成し、同スタイルの最優秀選手賞と最多フォール賞を獲得。グレコローマンスタイル96kg級では北村克哉(商4・日本工大付属東京工高)が初優勝を遂げた。(フリーでは05年に120kg級で優勝)

「勝たなければ」というプレッシャーの中、圧倒的な強さでフォール勝ちを重ねた稲葉は「優勝を狙っていたのでほっとしている」と笑顔を見せた。また、北村は「会場が暑く、汗でローリングがしにくかったが、最後は相手を持ち上げてポイントを奪い、接戦を制することができた」と決勝を振り返り、「学生最後なので全日本チャンピオン、学生タイトルを全部取りたい」と語った。

他にも、グレコローマンスタイル96kg級で野口智行(経済4・向上高)が、フリースタイル120kg級で北村が3位に入賞した。

(有馬 利香・商3=写真も)



▲プレッシャーをはねのけ、連覇を果たした稲葉



▲北村はグレコ96kg級を初制覇

[水泳] 日本学生

岩崎（100メートル自由形）が初優勝

好調持続「北京五輪」視野に

日本学生選手権水泳競技大会が9月7から9日まで、東京辰巳国際水泳場で行われ、岩崎優（経営4・湘南工科大附高）が女子100メートル自由形で初優勝、同50メートルで3位入賞を果たした。

100メートルでは自己ベストには及ばなかったものの56秒59で接戦を制し、「50メートルに絞っていたので、納得のいくタイムではなかったが、勝てて良かった」と話した。

4月の日本選手権で100メートルを制するなど、好調を維持している岩崎。「100メートルは55秒台前半が目標。来年の北京五輪を目指し、トレーニングに励みます」と語った。

8月21日から24日まで、千葉国際総合水泳場で行われた世界競泳2007に、岩崎優が日本代表メンバーとして初出場。4×100メートルフリーリレーで5位となった。

自由形の50メートル、100メートルでは予選をそれぞれ11位、15位で終え、B決勝（予選9位から16位によるレース）へ。B決勝では50メートルが3位、100メートルが7位だった。「50メートルの予選で自己ベスト（26秒36）が出ていたので、B決勝では25秒台を狙っていましたが（結果は26秒09）。世界の強豪に挑戦することを考えていたので、プレッシャーを感じることなく臨めました」と話した。

（荻野 敦子・文3）

[テニス] 関東学生

女子単一細貝が準優勝

女子複 藤井・松重組がベスト4

関東学生テニス選手権が8月3日から19日まで、川崎市麻生区の百合丘ファミリーテニスクラブほかで行われ、女子シングルスで細貝沙織(経済3・水戸商高＝写真)が準優勝、女子ダブルスで藤井友里(経済2・相山女学園高)・松重貴子(文1・秀明英光高)組がベスト4入りを果たした。

「シードではなく予選からの参加だったので、自分でも驚いている」と語る細貝。大会を振り返って「本戦に
いるのは強い選手ばかりなのだから、先のことは考えず、目の前の試合で一つひとつ自分のできることを
しようと思った」と謙虚に話す。うだるような暑さの中、集中力を切らさず戦い抜いた強さには感動させら
れた。

関東大学リーグ戦へ向け、体力・気力ともに十分な仕上がりを見せているテニス部。これからも熱い戦いを
繰り広げてほしい。

(加藤 未希・文3)

[ボクシング] 九州アマ ライトウエルター級

川内が2年連続優勝

世界選手権へ弾み

九州アマチュアボクシング選手権が8月17日から19日まで、大分県津久見市で行われ、ライトウエルター級で川内将嗣(商4・龍谷高＝佐賀県代表)が連覇を達成(04年はライトウエルター級、05年はウエルター級で優勝しており、同大会では4年連続の優勝)した。

今大会は全日本選手権の予選と、秋田わか杉国体(9月29日から10月9日まで)九州ブロック予選会を兼ねており、両大会の出場権を獲得した。

決勝を2ラウンド41秒・レフリーストップで制すなど、格の違いを見せた川内。ここまでの戦績から、10月22日からアメリカ・シカゴで行われる世界選手権のライトウエルター級日本代表にも選出されている。北京五輪に向け、世界の舞台での活躍に期待したい。

バンタム級の友永志(商2・津久見高＝大分県代表)も国体、全日本選手権の出場権を得た。



川内将嗣

[バドミントン] 東日本学生

井上 女子単で初優勝

田村3位、団体ベスト8

東日本学生バドミントン選手権が8月29日から9月3日まで、仙台市の宮城野体育館ほかで行われ、女子シングルスで井上春奈(商2・埼玉栄高)が初優勝を遂げた。

また、今春の関東学生リーグ戦で新人賞を獲得した田村千秋(文1・昭和学園高)が3位入賞、女子団体はベスト8に終わった。

初戦から準決勝まで、1セットも落とさず、オールストレート勝ちで勝ち上がった井上。決勝は、準決勝で田村を破った早大・関谷と対戦した。第1セットを落とし、その後も苦戦を強いられたもの、24—22、22—20で第2、3セットを連取し、栄冠を勝ち取った。大会を振り返り、「団体で悔しい思いをしたので、個人で良い結果を残せてうれしいです。今後もインカレに向け、一つずつ、目の前の試合に集中していきたい」と語った。

《Sportsカレンダー》

◆アメリカンフットボール部

▽関東学生リーグ戦
9月1日～11月17日(川崎球場ほか)

◆バスケットボール部

▽関東大学リーグ戦
9月8日～10月21日(生田総合体育館ほか)

▽関東女子学生リーグ戦
9月1日～10月21日(代々木第2体育館ほか)

◆ラグビー部

▽関東大学リーグ戦(2部)
9月23日～11月25日(日大稲城グラウンドほか)

ユニバーシアード出場

ユニバーシアード競技大会が8月7日から18日まで、タイ・バンコクで行われ、水泳(競泳女子)に岩崎優が、バスケットボール(女子)に横山悠衣(文3・市立柏高)が出場した。

岩崎は自由形の50メートル、100メートルと、リレー3種目に出場し、4×200メートル自由形リレーで7位に入賞。日本が優勝した4×100メートルメドレーリレーでは決勝メンバーには選ばれなかったものの、予選通過に貢献した。「調子が良くなかったので、順位よりも自己ベストを狙っていた。緊張で硬くなってしまった」と振り返った。

横山はスターティングメンバーとして活躍。アメリカ戦で18得点を挙げるなど健闘したが、チームは10位に終わった。「思い切りよく3ポイントシュートを打てたことが得点につながったと思う。この経験を生かし、チームを盛り上げ、リーグ戦では上位を目指します」と話した。

(荻野 敦子・文3)